



国立公園におけるユニバーサルデザインプロジェクト事業

平成28年度要求額
119百万円（新規）

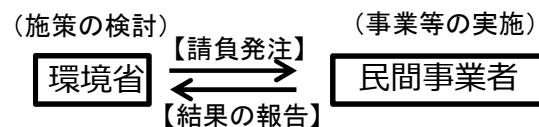
背景・目的

- 「『日本再興戦略』改訂2015」において、観光は経済再生のきわめて重要な柱と位置づけ。
- 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」では、訪日外国人旅行者数2,000万の早期達成と、万全の受け入れ体制構築を表明。高齢者、年少者や障がい者等が「旅する喜び」を味わえる環境整備の促進を言及。
- 環境省において、「国民公園・国立公園ユニバーサルデザインプロジェクト」を実施し、本年6月にとりまとめを行った。

事業概要

- ①国立公園における戦略的な情報発信推進事業
- ②ユニバーサルツーリズムの推進のための人材養成
- ③地域での受け入れ体制整備

事業スキーム



期待される効果

国立公園の魅力の向上により、訪日外国人の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与する。

イメージ

課題

情報発信の方法等が不十分

外国人向けエコツアーガイド等の人材不足

受け入れ体制の未整備

①国立公園における戦略的な情報発信推進事業

- ・ICTを活用した訪日外国人向け情報発信、海外旅行博等への出展、都内の観光スポットでのPR及び海外メディアの誘致等
- ・障がい者、高齢者に対するアクセス情報や施設情報、施設内の表示等に関する情報発信を強化

②ユニバーサルツーリズムの推進のための人材養成

- ・一般的なガイドでは対応できない、外国人や障がい者等に対するエコツアーガイド等の人材養成を行う。
- ・国立公園のビジターセンター等の職員に対するユニバーサルマナーの研修の実施

③地域の受け入れ体制整備

- ・ユニバーサルツーリズムに意欲のある地域における「国立公園魅力発信アクションプラン」策定を支援

国立公園の魅力の向上により、訪日外国人の増加をはじめ、地域の観光振興・活性化に寄与